

# 途上国の選手と交流

アンジュヴィオレと親善試合  
カープの試合を観戦



アフガニスタンサッカー女子代表と  
アンジュヴィオレ広島の選手



JICAの職員とカンボジアの人々

国連ユニタール広島事務所主催の女子サッカーなでしこ二部リーグ地元アンジュヴィオレ広島とアフガニスタン女子代表の親善試合が九月二十日に安佐南区のエディオンスタジアムで開催された。同事務所が九月十六、二十一日にアフガニスタン女子代表サッカーチームの研修を行ったその一環として、国際平和都市広島でできる喜びと平和を願った。

また九月二十一日は国連が定めた世界平和デーであり、ユニタールとJICA中国、カープ球団三者が初めてマツダスタジアムでの周知イベントを行った。

前述のアフガニスタン女子代表やJICAからは中南米、アジア、アフリカの開発途上国から来ている研修生ら約百名がカープの試合を観戦し、復興のシンボルとして地元根差したカープ球団の歴史と広島復興に勇気づけられた。

(写真下はJICA職員が世界中で現地の人々とそれ行けカープを歌う姿マツダスタジアムの大型ビジョンで放映された)

1 October, 2015 Nikkan Hiroshima  
(Daily Hiroshima)

1 October, 2015 Nikkan Hiroshima (Daily Hiroshima)

On 20 September, a women football team from Afghanistan disputed a match with the Hiroshima's Angel Violet at the EDION stadium. UNITAR Hiroshima organized the Afghanistan fellowship (including the football game) and invited the women football team to Hiroshima.

The event was held in cooperation with UNITAR, JICA Chugoku and the CARP (Hiroshima baseball team) on World Peace Day.